



別府リハビリテーションセンター 障害者支援施設にじ 広報誌



施設長挨拶

2022年4月から農協共済別府リハビリテーションセンター 障害者支援施設「にじ」の施設長を拝命いたしました、田金裕昭 (たがね ひろあき) です。今般、施設長という重責をお引き受けする に当たり、改めて身が引き締まる思いを感じております。

さて、「にじ」は当法人の理念である「すべての人が地域でしあわせに生活できる社会の実現」に向けた、障害者の方が自立した社会復帰を支援するための施設として、利用者のニーズに沿った復帰後の生活が送れるよう利用者の皆様と職員が協働して、社会復帰に向けた各種プログラムに沿ったリハビリ訓練(機能訓練、生活訓練、就労移行支援、施設入所支援)をおこなっております。

「にじ」という言葉は「輝き」「希望」「自由」「多様性」といった イメージがあります。

当施設では今後も、障害をもたれた方と地域(家庭やお仕事など)や社会とをつなぐ"架け橋"となれるよう、また、社会復帰後も輝きや希望を持ち続け自由や多様性を享受できるよう、支援してまいりたいとの所存です。



たがねひろあき 施設長 田金裕昭

引き続き、障害者支援施設「にじ」への変わらぬご支援を賜りますようよろしくお願いいたします。



脳血管疾患の方は、再発や転倒のリスクが高く、その予防には運動の習慣が重要だと言われています。

しかし、多くの方は自宅復帰・就労などの環境変化により、活動量が低下する傾向が高く、 さまざまな要因が相互に影響して、身体機能の低下に繋がりやすいとされています。

くにじ>では退所後の5年、10年先も健康かつ安全に生活できるように、運動指導や疾病教育・食事療法などに力を入れています。にじの訓練の一環である"体操"では、身体状態の自己管理と運動の習慣化を目的に、ストレッチ指導や上肢の機能訓練・生活動作の練習などを実施しています。

「私は大丈夫」「何とかなる!」と思っていても、にじ退所後の生活状況の調査から、 継続的に運動している人は少ないとの状況が見られています。また、ある報告では、退院患者 さんの65%が指導された運動を実施できていないことが報告されています。

自分自身でやらなければならないことが多くなる地域生活は、時間や体力に制約があり思うようにいきません。生活状態の悪化を予防するため、にじ入所時から運動の習慣を身につけて 退所後に待つ自宅生活や仕事を安心して送れるように支援しています。









にじ卒業生へのインタビュー

笑顔が印象的なAさん。 当施設を利用されていたのは7年前ですが、 今回は当時のことや現在の生活についておうかがいしました。



交通事故で高次脳機能障害の記憶障害が残り、当施設に入所されました。 メモリーノートの活用を目標に訓練に取り組まれました。

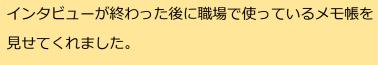
各種ある訓練の中でも、特に高次脳機能障害のグループワーク訓練が役に立ったそうです。 病院入院中は、メモをとるように注意されても『そんなのわかってるし』と反抗する気持ちが あったそうです。しかし、当施設で同じように記憶障害がある方がメモリーノートをつけて いる姿を見て『そうだな』と思い、メモをとる必要性を感じられたそうです。

さらに他利用者のノートを見せてもらうことで、自分がわかりやすいように項目を作ったり、 またできるようになったことは項目から削除したりなどご自身でも工夫されました。メモの 取り方を学び、むやみにメモをとっても意味がないことがわかったそうです。

そしてAさんは「人とのコミュニケーションを通して自分の症状がわかった。にじは自分の障害がしっかりわかる場所だった」とお話してくださいました。

現在は、自宅近くのスーパー(食品部門)に勤務し、品出しやポップ作りなどの仕事をしています。 職場では必ずメモをとるようにしていますが、細かいことは漏れることも…。 そんな時は改めて先輩に確認し、先輩もAさんがメモするまで待ってくれているそうです。 職場の方々がAさんの症状を理解し、フォローしてくださり「とてもありがたいです」と嬉しそうに笑顔を見せていました。

職場では"しっかりメモして、終わったことはチェック!"を意識しているAさんですが、自宅ではついつい油断することも。大丈夫これくらい覚えていられると思っても、覚えていないこともあるそう。ご家族から指摘を受け「あぁ、そっか」と落ち込むこともあるそうですが、気持ちを新たにホワイトボード、カレンダー、手帳に記載し工夫して生活されています。



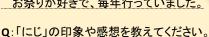
ボロボロになったメモ帳はAさんの努力の形です。 Aさん、ご家族や職場の方のサポートも受けながら そのままの笑顔で頑張って下さいね。



新職員の紹介

神 河 宏 明 (社会福祉士)

- Q: 最近のマイブームは何ですか。 A: 学生の頃よりバイクが趣味です。
- Q:大分県のおすすめスポットは?
- A: 佐伯市で開催される豊漁祭など
- お祭りが好きで、毎年行っていました。



- A: 皆様、目標をもって、訓練に取り組まれています。
- 訓練時間外にも、自主歩行されている方もおられ一日一日を 大切に過ごされております。
- Q:新年度の抱負をお願いします。

A:社会復帰を支援する障害者支援施設として、多くの方に知って 頂き、ご利用いただけるよう、より良い施設づくりに取り組んで いきたいと思います。

甲 斐 仁 美 (看護師)

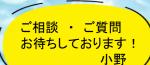
- Q:性格を一言でいうと?
- A:涙もろい。
- 長男のサッカーを見て「頑張ってる」と
- 涙が出ました。
- (子供を産んでから涙腺が・・・)
- Q:最近のマイブームは?
- A:ペットのシマリスと遊ぶこと
- (手のひらに乗ってくれます♡)
- Q:「にじ」の印象や感想を教えてください。
- A: 利用者様、職員が優しいので、楽しく仕事ができています。
- Q:新年度の抱負をお願いします。
- A:1日でも早く慣れて、戦力になれるよう頑張ります!

鍋 川 穂 野 香 (社会福祉士)

- Q:性格を一言でいうと?
- A: 松岡修造のおとなしいバージョン! (情熱的ですが、うるさくないです笑)
- Q: 大分県のおすすめスポットは?
- A:大分市明野の夜景。
- (有名ではないので独り占めできます)
- Q:「にじ」の印象や感想を教えてください。
- A:明るく真剣に訓練に取り組まれている姿に、
- 日々背中を押されています!
- Q: 新年度の抱負をお願いします。
- A: 皆様の光になれるように、しらしんけん頑張ります!

黒 木 利 昭 (支援員/にじ0B)

- Q: 自分の好きなところは?
- A:「やる」と決めたら、やります。
- Q:最近のマイブームは?
- A: DVDで外国映画を見ること。
- 公道を通るバイクを見る。
- (16歳からバイクを10台程乗り継ぎました)
- Q:「にじ」の印象や感想を教えてください。
- A:本当にありがとうございました。別府リハビリで良かったです。
- Q:新年度の抱負をお願いします。
- A: 仕事をくれた事に感謝しています。気合い入れて頑張ります。





【にじ入所の対象となる方】

回復期リハビリテーション病棟を退院された方や地域で生活されている方で

- ○18~65歳くらいまでの方 ○おおむねトイレが自立されている方
- ○常時医療行為が必要のない方 ○集団生活が出来る方
- ○障害者手帳をお持ちの方、または申請予定の方
- (手帳をお持ちでない方もお気軽にお問合せください)

社会福祉法人 農協共済 別府リハビリテーションセンター 障害者支援施設にじ

〒874-8611 大分県別府市鶴見1026-10

TEL: 0977-67-1716 FAX: 0977-67-8576

URL: https://brc.or.jp



